



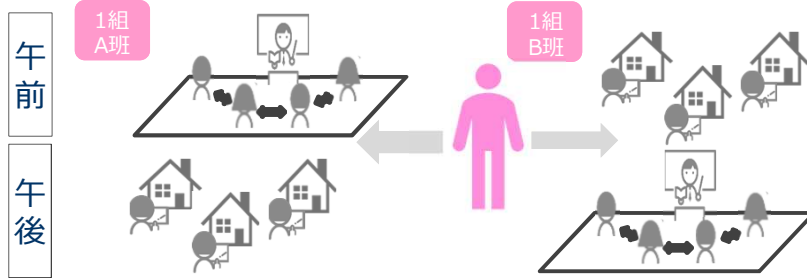
文部科学省



学校再開にあたって3密を避けるための環境づくり等、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図りつつ、臨時休業中の未指導分の補習等の実施など子供の学びの保障を徹底的にサポートするため、学校教育活動を支援する人手が必要。このため、令和2年度第1次補正予算に引き続き、

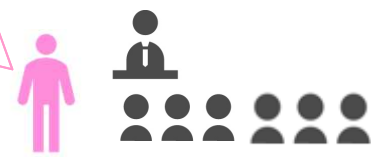
学習指導員を大規模追加配置(61,200人)

学級をグループに分けた分散登校時などの際、**家庭学習の準備**・**提出物の採点**、**授業準備の補助**、複数による**TT指導**(team-teaching)など、学級担任をサポート



内容の定着が不十分な児童生徒に対して個別にきめ細かにフォローできるよう、複数による**TT指導**(team-teaching)実施のために配置

授業の進度や内容の充実度などに応じて、きめ細かく個別にフォローに入ります。また、特別な配慮が必要な子供たちのケアもしていきます。



TT指導

習熟度にばらつきが出やすい教科等について、感染症対策も兼ねて**習熟度別学習**を実施するために配置



※教育課程内の授業を単独で学習指導員が行う場合は教員免許状が必要。

活用イメージ(例)

内容の定着が不十分な児童生徒に対して、放課後や長期休業中などを活用した**補習授業**等を実施するために配置



対象校種 公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校

想定人材 退職教員、教師志望の学生をはじめとする大学生、学習塾講師、NPO等教育関係者、地域の方々など幅広い人材

資格要件 自治体の定めによるが、教員免許状は必須ではない。(教育課程内の授業を単独で行う場合等は、教員免許状は必要)

実施主体 都道府県
政令指定都市

補助割合 国 1/3、都道府県・政令指定都市 2/3
※地方負担分は、地方創生臨時交付金により全額措置予定

補助対象経費 報酬、期末手当、報償費、交通費・旅費
補助金・委託費

実質国費
10/10
負担